

あんしん・あんぜん・元気なてらやつ 広報第16号

## 寺谷小域福祉ネットワークだより

\*\*編集・発行\*\*

発行責任者: 前川 清

問合せ先: 「なのはな館」

電話: 92-1481

## 寺谷小域福祉ネットワーク会長挨拶

会長 前川 清

寺谷地区にお住まいの皆様には、日ごろより「寺谷小域福祉ネットワーク」の活動に温かいご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。私儀、この度の役員改選により、再び会長として務めさせていただきます。どうか宜しく願いたします。

昨年度末に寺谷小学校が閉校となり、1年間それに伴う色々な行事が催されました。PTAを始め学校関係者が一丸となって取り組み、大変な苦労やプレッシャーがあったかと思いますが、成功裡に終わり「やれば出来るじゃないか」と自信を持たれた方も多かったのではないのでしょうか。

なお、寺谷小学校が閉校しても、小域福祉ネットワークはこれまでと同様な活動を続けていきます。ただし、ネットワークの正式名称を『寺谷小学校区小域福祉ネットワーク』から『寺谷小域福祉ネットワーク』に名称変更します。

さて、寺谷地区は、少子高齢化、核家族化の比率が市原市の他の地区よりも高く、それを補うため、「助け合い・支え合い」の気持ちを持ち、地域全体で関わるのが重要と考えております。

昨年度はその一環として、日常生活でのちょっとした困りごとをお手伝いする「日常生活支援事業(ささえあい寺谷)」を立ち上げました。支援する人、される人が一体となってこの事業を盛り立てていきましょう。

元々この地区には、人情味のある人たちが大勢いらっしゃいます。寺谷小域福祉ネットワークが「粋な計らい」が出来るような活動にするため、皆さんの力を貸してください。

豊かさよりも、安心して暮らせる町・心のやすらぎを求める人々が集まる街、「住んで良かった、住みたい街」こんな街づくりに貢献できたらと願う次第です。



## 寺谷小域福祉ネットワーク(役員・各班の紹介)

寺谷地区町会長会

会長: 前川 清 副会長: 大鐘 豊、若林 美砂  
 事務局長: 熊坂 竜介 会計: 今野 正一  
 書記: 高垣 知子 監査: 河野 武、串田 工

社会福祉協議会  
 (なのはな館)

## 資源回収推進班

業務班長: 関根 三喜男  
 事務班長: 大鐘 豊  
 <<協力団体>>

- \*各町会の会長
- \*各自治会の会長
- \*各町会住民
- \*各自治会住民
- \*資源回収賛同者

## 子ども支援班

班長: 清水 源男  
 <<協力団体>>  
 \*子育て家庭支援員  
 \*青少年相談員  
 \*体育振興会  
 \*各子供会の会長  
 \*更生保護女性会  
 \*市子連戸田支部

## サロン支援班

班長: 大畑 廣志  
 <<協力団体>>  
 \*民生委員児童委員  
 \*老人クラブ  
 \*防犯協会(南総支部)  
 \*南総交通安全協会  
 \*シルバー友の会  
 \*身体障がい者福祉会

## 広報紙編集班

班長: 高垣 知子  
 <<班員>>  
 \*大鐘 豊 (寺谷)  
 \*大畑 廣志 (西国吉台)  
 \*清水 源男 (吉野台)  
 \*高垣 仁 (小勝山)  
 \*櫛田 敏雄 (吉野台)

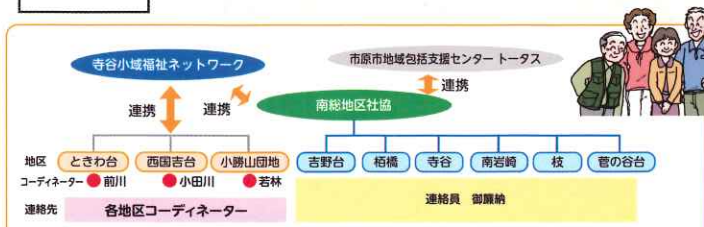
## 安心・安全支援班

班長: 小野寺 巖  
 <<安心訪問員>>  
 2025/4/1現在  
 地区全体: 47名

## 令和6年12月に、「日常生活支援事業」を立ち上げました

寺谷地区にお住まいの方で「日常生活でのちょっとした困りごと」を抱えている方をお手伝いする活動です。寺谷地区では、この活動を『ささえあい寺谷』の愛称で活動していきます。

詳細は左記チラシに掲載しましたが、下記の体制でこの事業を進めて参ります。困りごとがあつて支援を希望される方は、各地区コーディネーターおよび連絡員に連絡下さい。



また、日常生活支援事業の支援をして頂ける方を募集しております。前川(090-6149-1946)までご一報頂ければ幸いです。

## お申し込みはお電話で

時間: 毎週土曜日(各地区共通)  
 13:00~15:00

## ときわ台

コーディネーター 前川  
 電話: 090-6149-1946

## 西国吉台

お助け会: 小田川  
 電話: 0436-95-4333

## 小勝山団地

コーディネーター 若林  
 電話: 090-8111-8909

## 吉野台・栢橋・寺谷・南岩崎・枝・菅の谷台

連絡員 御藤納  
 電話: 090-4714-0285



# 令和6年度決算および令和7年度の予算概要

令和6年度の事業報告・決算並びに令和7年度の事業計画・予算案が、令和7年5月24日に戸田コミュニティセンターにおいて定期総会にて承認されました。概要は次の通りです。

## 令和6年度 寺谷小学校区小域福祉ネットワーク会計報告

収入の部	
項 目	金額(円)
前年度繰越金	1,566,463
地域福祉活動補助金	200,000
地域福祉支援補助金	60,000
小域福祉ネットワーク運営助成金	13,500
小域福祉ネットワーク活動費	30,000
資源回収収益金	488,200
資源回収助成金	378,946
ふれあいいきいきサロン参加費	54,900
ふれあいいきいきサロン補助金	45,450
預金利息	682
合 計	2,838,141

支出の部	
項 目	金額(円)
資源回収助成金 各町会へ助成(前期分)	390,250
資源回収助成金 各町会へ助成(後期分)	344,750
資源回収金 PTAへ助成	45,500
寺谷学び塾	37,761
寺谷祭り	30,000
春季運動会祝い金	5,000
閉校記念事業助成金	50,000
事務用品、通信費、コピー代	6,175
日常生活支援助成金	11,630
広報紙印刷代	38,587
茶話会(サロン)	233,319
会議費(お茶等)	21,651
次年度繰越金	1,623,518
合 計	2,838,141

## 令和7年度 寺谷小域福祉ネットワーク予算

収入の部	
項 目	金額(円)
前年度繰越金	1,623,518
地域福祉活動補助金	200,000
地域福祉支援事業	60,000
小域福祉ネットワーク運営助成金	13,500
小域福祉ネットワーク活動費	30,000
資源回収収益金	460,000
資源回収助成金	370,000
サロン参加費	50,000
サロン助成金	45,000
預金利息	682
合 計	2,852,700

支出の部	
項 目	金額(円)
資源回収助成金 各町会へ助成(前期分)	400,000
資源回収助成金 各町会へ助成(後期分)	350,000
資源回収金 PTAへ助成	0
寺谷学び塾	40,000
寺谷祭り(2回分)	100,000
春季運動会祝い金	0
閉校記念事業助成金	0
事務用品、通信費、コピー代	10,000
日常生活支援助成金	100,000
広報紙・チラシ印刷代	40,000
サロン・てらやつ	230,000
南総地区社協 賛助会費	5,000
会議費(お茶等)	20,222
予備費	200,000
次年度繰越金	1,357,478
合 計	2,852,700



# 令和7年度 寺谷小域福祉ネットワーク事業計画

班 月	資源回収推進班 (回収日) (予備日)	子ども支援班 (学び塾日程)	サロン支援班 (サロン・てらやつ日程)	広報紙 編集班	安心・安全 支援班
令和7年 4月	4/6 4/13	  8/17(日) 寺谷夏祭り ○打ち水大作戦 ○キャンプ体験 	4/25(金) 吉野台自治会館	4/12(土) 16号 第1回編集委員会	1. 一人暮らしの高齢者が地域で孤立しないよう訪問活動などで未然に防止する。  2. 異常を発見した時に迅速に対応できる体制を確保する。  3. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる様に地域全体で支援する。
5月	5/11 なし		5/23(金) 南岩崎自治会館	5/18(日) 16号 第2回編集委員会	
6月	6/1 6/8		6/27(金) 西国吉台集会所	6/14(土) 仕分け作業、各町会に配布	
7月	7/6 7/13		7/24(木) 小勝山団地自治会館		
8月	8/3 なし		9/26(金) 吉野台自治会館		
9月	9/7 9/14	10/18(土) カレーライス作り 	10/24(金) 南岩崎自治会館	10/11(土) 17号 第1回編集委員会	4. 「日常生活支援事業」をスタートさせ、「お互い様」、「向こう三軒両隣」を基本理念とし、先ずは”できる事”から始めます。  
10月	10/5 10/13	11/21(金) 西国吉台集会所	11/8(土) 17号 第2回編集委員会		
11月	11/2 11/9	12/6(土) クリスマス リース・クレープ作り	12/11(木) 寺谷地区全体クリスマス会／小勝山団地自治会館 または寺谷小学校体育館 	12/13(土) 仕分け作業、各町会に配布	
12月	12/7 12/14	1/31(金) 寺谷カルタ 			
令和8年 1月	1/11 なし				
2月	2/1 2/8				
3月	3/1 3/8				

\*8月の予備日は、お盆休み期間中のため、3日の実施日が中止の場合、8月は実施しません。

\*これまで旧寺谷分校跡地を資源物の収集場所として使用してきましたが、令和7年6月の回収日から寺谷小学校校庭と致します。

## 令和6年度資源回収事業結果報告

日頃より、当事業活動にご理解・ご協力をいただきお礼申し上げます。

お陰様で無事執行できましたので、その結果を報告します。

回収量は83トン（昨年比4トン減）収益金81万円（昨年比9千円減）でした。回収品目の特筆として、業者の買い上げが高い金属類とペットボトルの増量に伴い、収益金はほぼ横ばいでした。

因みに回収量ランキングは市原市内206団体中トップを継続しています。

### 資源回収のメリット

地域住民  
の連携

コミュニティ  
形成

見守り  
効果

資源回収は、SDGsに役立つだけでなく、地域の住民が集まって作業することでコミュニケーション効果があり、地域の連携に役立ちます。

## 資源回収の意義は？



①資源物の有効利用 ゴミとして出される中からリサイクルが可能な物を分別収集する事で「資源循環型社会」の構築が図られます。

②ごみの減量化 多量のごみから有価物を分別し、焼却・埋め立てごみを減らし、ごみ処理施設の延命化を図る必要があります。特にごみを埋め立てる最終処分場用地は限りがあり、新たな埋立地の開発は莫大な費用が必要です。

③ゴミ処理経費の減額 ゴミの処理には、処理費・運搬費など量が多くなるとその分費用負担が多くなります。

④地球温暖化 燃焼に伴う二酸化炭素を削減することで、地球環境の保全に繋がります。



## 寺谷小学校の歩みをたどる vol.4

## 寺谷と海

「寺谷小学校30周年記念誌の寄せ書きを読んでいると、「潮干狩り」という言葉が多く現れる。この潮干狩りに関しては、分校に昭和10年(1935年)~13年に在籍した武田さんの文章や昭和26年の学校日誌、同36年や48年の学校日誌などたくさんの実施の記録があった。おそらくこれらの記録に現れる以前、大正14年(1925年)に小湊鉄道の第一期線が五井駅~里見駅間に開通して程無く学校行事として始まったに違いない。

先の武田さんや昭和22年~25年在籍の武田さんが参加された時には、小湊鉄道で五井駅まで行き、駅から芦原のなか砂と貝殻の道をえんえんと浜辺まで歩いたとのことだ。その後潮干狩りの場所は、昭和36年には袖ヶ浦町(現袖ヶ浦市)の長浦海岸、そして昭和48年には木更津市の牛込海岸へと臨海コンビナートの広がりとともに移動している。

さらに古代には、縄文人たちが海で貝を捕り(つまり潮干狩りをして)、食べた後に貝殻を大量に捨てた場所がのちに貝塚になって発見される。国分寺台の西広貝塚などが大規模に発掘調査された例だ。市原市には他にもいくつもの貝塚があり、市原市埋蔵文化財調査センター(市原歴史博物館)のホームページに詳しい説明がある。今から約6000年前頃の縄文時代には、縄文海進(じょうもんかいしん)と呼ばれる今より2~3m海面が高かった時代があって、五井~西広あたりは広大な入り江になって

いた。貝塚はその当時の海岸線に近い場所から多く発掘されている。

寺谷小学校30周年記念誌に杉原教頭先生が「総合的な学習の時間に、栢橋の奥の方の川底から出てくる牡蠣などの貝殻を掘り出し、貝塚か化石かを調べる勉強をした」と書いている(ただし現在は危険なため立ち入りが禁止されていると聞いている)。現代の寺谷小学校の海拔が43.4mあることから考えると、縄文海進で寺谷地区まで海水が侵入してきたとは思いが、ではなぜ栢橋から牡蠣の貝殻が出てくるのだろうか。

今から約12万年前頃まで遡ると、海面が今より10mほど高いところにあったらしい。その時代は「下末吉海進期(しもすえよしかいしんき)」と呼ばれている。現在千葉県のあるあたりは、房総半島南部が陸地(島)であったものの、千葉県北部を含む関東平野は「古東京湾(ことうきょうわん)」と呼ばれる浅い海だったという。その後3~2万年前の海退期には地球規模の地殻変動などにより海水面が今より120mも下がって古東京湾は陸地化したようだ。つまり牡蠣などの殻は、古東京湾が陸地化するまで海の浅瀬だったことを表わしているのだろう。井戸を掘ると貝殻が出てくるという話を聞くことがあるのも頷ける。

(文責 高垣 仁)



下末吉海進期(海面上昇7~12m)  
12~13万年前

## 寺谷小学校閉校後の取り組みについて

44年の間地域の子供たちを育み、地域の方に愛された寺谷小学校が2025年3月をもって閉校しました。

寺谷小学校がなくなっても、小学校は地域みんなの心の拠り所。地域をもりあげるために何かできないか—そう考え、有志メンバーを中心に、閉校後の寺谷小学校の施設を活用するために、2024年6月、維持管理団体として「寺谷未来機構」を立ちあげ、小域福祉ネットワークに協賛いただいております。

市の教育委員会等との様々な相談の上、期間限定(1年更新で、利用したいという企業等による活用が決まるまで)という条件のもと、体育館、校庭、図書室の手前の3つの部屋をお借りすることができるようになりました。

市からお借りするものなので、たいせつに使わせていただきたいと思います。

5月18日現在いくつかのスポーツ団体から要望が来ていますが、管理運営団体である「寺谷未来機構」の規約に則り、審査の上お返事させていただいております。

また、寺谷未来機構では、年に1~2回の「てらやつ祭り」のほか、毎月第3週の土曜日に体育館で「マルシェ・てらやつ」を開催、6月21日(土)からは図書室手前の3部屋での「いちばらマンガ図書館」を毎週末限定で開館いたします。6月21日(土)にはオープニングセレモニーも行う予定です。

お問い合わせは寺谷未来機構 高垣まで 090-6174-5389



上記でお知らせした「寺谷未来機構」主催による夏祭りが開催される予定です。今回は日中は竹の水鉄砲作りと水遊び、夕方からは櫓を組んでの夏祭りの予定です。吉野台太鼓連の演舞も予定されています。

8月17日(日曜日)、10時から20時まで。皆様お誘い合わせの上お越しください。ボランティアスタッフも募集中!

お問い合わせは寺谷未来機構 高垣まで 090-6174-5389

## 編集後記

ジブリアニメ映画に出てくるニギハヤミコハクヌシは、名前を奪われハクと呼ばれてアイデンティティを失いましたが、千尋の愛の力で取り戻しました。寺谷小学校の閉校で名称が変わり寺谷小域福祉ネットワークになりましたが、私たちも新しい価値観を持って存在意義を問い直す時が来ているのではないかと思います。

(高垣 仁)